ふれあい

～三輪地区ふれあい活動推進協議会だより～

第 30 号　令和 4 年 10 月発行
三輪地区ふれあい活動推進協議会
〒669-1514 川除 675 番地
（社協 三田三輪地域福祉支援室内）
電　話:559-5965　FAX:559-5945
メール:chiiki@sanda-shakyo.or.jp

古田会長挨拶

ごあいさつ

三輪地区ふれあい活動推進協議会　会長　古田　茂充

三輪地区ふれあい活動推進協議会、会長の古田茂充（しげあつ）と申します。

どうぞ、よろしくお願いいたします。ふれあい活動推進協議会は「住み慣れた地域で、誰もが安心して安全に暮らすことのできるまちづくり」を目指して、様々な活動を推進しています。ただ、ここ 2、3 年間コロナ禍で十分な活動はできませんでした。しかし、ウイズコロナの考え方の中、感染防止対策等充分に考慮しながら、徐々にできることをゆるやかに進めていく必要があると思います。

今後も地域住民の方々の情報やニーズの収集に努め、三輪地区の発展のために構成団体の皆さまと協力し、努力して参りますので、よろしくお願いします。

健康講座（映画上映会・長いお別れ）講演会開催！！

認知症をテーマにした健康講座(映画上映会)講演会が、新型コロナオミクロン株の感染拡大により、延期されていましたが、7 月 31 日まちづくり協働センター・多目的ホールで 69 名の参加を得て行われました。

映画上映会は、認知症を題材にした「長いお別れ」を鑑賞していただきました。父の認知症の発症により、自分自身の人生と向き合うことになる 7 年を、思いもよらない出来事の連続に驚きながらも、温かな眼差しをもって、優しさとユーモアあふれた映画に、家族の接し方などいろいろと感じることが多々ありました。

今や、認知症については、私たちも避けては通れない、我々自身のことであります。住み慣れたところで、誰もが安心して安全に暮らすことのできる地域づくりを目指したいものです。

上映会の主なアンケート集計　(62 名の方からいただきました)

(家族の大切さ)

- 全ては受け入れることから始まる。家族愛を通して教えてくれた素晴らしい映画でした。
- 家族の在り方、小さい頃からのつながりが介護に深いかかわりがもてたのかも。
- 認知症との付き合い方を考え、夫婦のつながりを強めた。

映画について	
良かった	57
普通	3
良くなかった	0
無回答	2

予告

健康ウオーキング開催　11 月 26 日(土)午前 9 時集合 9 時 30 分出発 少雨決行
集合場所：三田市総合福祉保健センター
コース：武庫川堰堤(4.2km)

企画部会長　東部　貢

三輪小学校区　　みわっ子食堂

「三輪小学校区で、子どもから大人まで地域の人がふれあいながら居場所を作り、その中で子どもの健全育成をあわせて行うこと」を目的として、みわっ子食堂は令和４年５月２８日に設立しました。令和３年夏頃、三田市内には６つの子ども食堂がありましたが、三輪小学校区には子ども食堂がなく、三輪小学校区の方と三田市関係者には三輪小学校区にも子ども食堂を設立したいとの思いがありました。

三輪小学校区まちづくり協議会が子ども食堂を設立すべく計６回検討会を開き、みわっ子食堂を設立することとなりました。

みわっ子食堂は、会の運営、食事の用意、子どもの相手をするなどで協力して下さる方や、寄付をして下さったり、食材の提供をして下さったりとさまざまな形で協力してくださる方が増えつつあります。

みわっ子食堂代表　本多　淳二

防災体験学習（令和４年８月21日開催）

新型コロナウイルス感染拡大が続き、３年越しでの開催。夏休みを利用して、兵庫県広域防災センターまでバスに乗って出発！

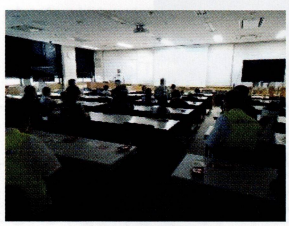
体験学習内容は、①学習ガイダンス　②起震車による地震体験　③消火器取扱体験　④煙避難体験　⑤消防関係車両見学

参加してくれた子供たちは、小中学生と未就園児でしたが、しっかりと話を聞いていました。

アンケートの中で、一番興味があったのが、地震体験。震度５から山崎断層地震、阪神淡路大震災の震度など、何度も体験していた子供たち。水消火器体験も２番目に人気がありました。

この体験を活かして、今から災害時に必要なものを準備し、家具などが倒れにくくする工夫など備えてもらえたらと思います。今回参加できなかった皆さまも、次回は是非ご参加ください。

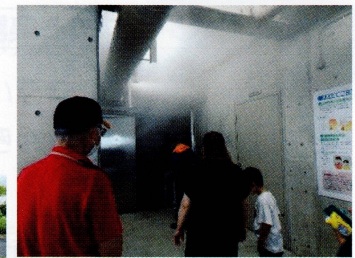
三輪小学校区まちづくり協議会　事務局



地震体験

消防関係車両見学

消火器取扱体験



煙避難体験

松が丘校区

４月21日に武庫川河川沿いでお花見をしました。
当日は、お天気に恵まれ、自宅から少し歩いたところでしたので、
久しぶりにみんなで歩いて桜を満喫しお弁当を開いて楽しい時間を過ごしました。

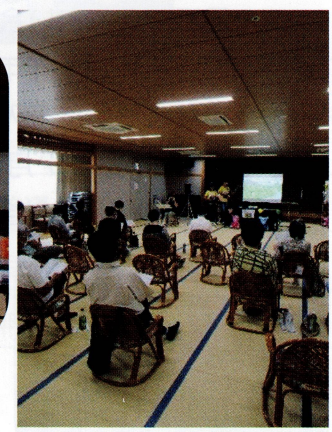
６月には永沢寺を参拝しました。麓の茶屋でおそばを頂き、お腹を膨らませたところで、永沢寺の副住職さんに、本堂の案内をして頂き、その後、境内を見学しました。檀家の方もおられますが、菖蒲園や芝桜を見に行くことはあっても、境内の中に入ることはなかったので、副住職さんに説法を拝聴するというラッキーな機会をいただきました。

６月21日第２回三人考が松が丘小学校で開催されました。
校区にお住いの北浦春香さんをお迎えして講話をいただきました。
小学生の時に、参加した障害者スポーツの催しで車いす陸上に出会い八景中学校時代に本格的に競技を始められました。
パラリンピックにも２度出場し2024年に神戸で行われる「世界パラ陸上競技選手権大会」や同年に行われるパラリンピック「パリ大会」に向け、日夜練習に励んでおられます。
車の運転もされ、近場は車いすでお出かけされていますので、私たちが気づかないけれども車いすの方には障害になる通路、駐車場等の困りごと等丁寧に話してくださいました。
夕刻で参加者は少なかったですが、勉強になりました。

９月10日（土）に“くれよんのーと”さんをお迎えして市総合福祉保健センターでふれあいサロンを行いました。男女のデュオでギターとウクレレで懐かしい歌や三田の情景を歌にしたオリジナル曲を披露していただきました。
私たちもハーモニカ演奏をしたり、ウクレレに合わせて歌ったり、踊りを披露したりとゲストの方と一体となって盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことができました。

大原・大原荘園ふれあい会

くれよんのーとさん



志手原校区地域づくり協議会

地域の魅力づくりでは、市立上野台中学校生徒会と共同して、「アサギマダラが飛びかう郷づくり」に取り組んでいます。

上野台中学校生徒会では、「虹プロジェクト」活動（※フジバカマを増やしアサギマダラが飛来する自然豊かな地域づくり）を進めており、協議会もフジバカマの苗木を増やして全戸配布と共に、フジバカマの匂い袋を作り上野台中学 OB の成人式に贈る活動を支援しています。

また、休耕田を活用してフジバカマやコスモスを栽培し、アサギマダラをはじめ様々な蝶が飛び交う鑑賞体験田を整備しました。併せて鑑賞体験田の管理を行うボランティアグループ「アサギマダラの会」を立ち上げ住民の環境意識の高揚と魅力づくりに取り組んでいます。

※9 月下旬から 10 月頃にはきれいなアサギマダラが飛んできます。自由に鑑賞していただけますので是非お立ち寄りください。

（お問合せ先：志手原校区地域づくり協議会事務局・☎　079-556-7119）

フジバカマってどんな花？

フジバカマは、羽毛のような優しい花が咲く秋の七草の 1 つです。多年草で、葉に桜餅を思わせる芳香があるのが特徴で、生渇きくらいが強く香ります。論語の「蘭」はフジバカマを指し、源氏物語の三十帖「藤袴」では想い伝えるのにフジバカマ花を差し出しています。古くから親しまれている花ですが、自生に適した環境が減り、準絶滅危惧種になっています。花の咲く時期は 10 月頃で、フジバカマの蜜を好む蝶としてはアサギマダラが有名ですが、ツマグロヒョウモン（メスが特に美しい）もよく見られます。

アサギマダラってどんな蝶？

アサギマダラの寿命は羽化後 4～5 カ月で、ゆっくりと成熟し、蝶としては長生きです。好物は花蜜にアルカロイドという毒を含むフジバカマやヒヨドリバナなどで、体内にその毒を蓄えます。その毒のおかげで鳥などから攻撃されたにくくなり、風にのるようにふわふわと飛ぶ飛行力から長距離を飛翔することができると考えられています。アサギマダラが渡りをする理由やその能力についてはまだまだ謎が多く、人々を魅了し、マーキング調査も行われています。

志手原ふれあい会

～地域いつまでも
元気で暮らせるように～

志手原ふれあい活動は平成 18 年に地域の高齢者をはじめすべての皆さんが互いに助け合い、元気で安心して暮らせるようにーとの目的で発足しました。以来、毎月 1 回高齢者のふれあい会（つどい・サロン）の開催（参加者 20 名前後）、日帰り旅行・区の盆踊り大会で出店などの活動を行っています。

しかし、ここ 3 年はコロナウイルス感染により実施できていない活動もありますが、毎月のふれあい会はコロナ感染拡大時を除き感染に留意して開催し、感染拡大が 2 カ月ほど続き実施できない時は、お弁当にお手紙を添え声かけ訪問を行っています。

ここ最近のふれあい会の主なものとしては、毎年 2 回志手原幼稚園児とのふれあい交流を行っていますが、昨年 10 月には幼稚園の芝生園庭で園児の歌や楽器遊びを聞いたり、みんなで歌ったり、玉入れなどで楽しく過ごし、園児の皆さんから元気をいただきました。そして、11 月には園児に区民センターに来てもらって交流しました。

また、本年 6 月には全国各地で広がっている「いきいき百歳体操」を行いました。この体操は「志手原校区地域づくり協議会」でも推進しており、「しではらつながり広場」の開所日（火・水・木・土）に行われており、ふれあい会で体験された数人の方がこの体操を続けられています。これからも地域の高齢者がいつまでも元気で楽しくつどえる場となるよう活動を進めていきたいと思っています。

【志手原ふれあい会会長　福西　勝弘】